

新潟病院内科における研修

▶ 一般内科研修

ひとりひとりの患者さんを丁寧^ニに診察し、論理的に思考に基づいて正しい診断に到達します。幅広く文献を読み、エビデンスとともに個々の患者さんの状況を考慮して最適な治療を行います。様々な検査手技をじっくりと学ぶことができます。

▶ リウマチ・膠原病研修

診察の基本からDMARDs、生物学的製剤の使用法まで専門医が丁寧^ニに指導します。あなたを関節炎のエキスパートに育て上げます。

▶ 臨床遺伝専門医研修

臨床遺伝専門医・指導医が臨床遺伝の基礎から遺伝カウンセリングの実際まで丁寧^ニに指導します。専門医2名(指導医1名を含む)、認定遺伝カウンセラー2名在籍。次世代シーケンサーあり！

▶ プライマリ・ケア研修

プライマリ・ケア認定医、指導医による指導。柏崎市国民保険診療所(北条診療所)との連携研修可能。



新潟病院で臨床遺伝学と 遺伝カウンセリングを学びませんか？

皆さんは「遺伝カウンセリング」という言葉をご存知でしょうか？遺伝カウンセリングは、遺伝が関係する問題に悩み、不安や疑問を抱えている方々が自主的に問題を解決するための方法を見いだせるように支援する行為です。そのために、相談者(クライアント)のお話を良くうかがって問題点を把握し、正確な情報提供と心理社会的支援を行います。ゲノム解析技術の進歩と医療現場への遺伝子診断の急速な普及により、**いまや「遺伝」を抜きにして現代医療を考えることは難しい**と言っても過言ではありません。**遺伝カウンセリングの重要性は今後ますます高まると考えられます。**

一昨年は、「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査(NIPT)」の開始や、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群(HBOC)の変異遺伝子を持つ米国の女優アンジェリーナ・ジョリーさんが予防的乳房切除術を受けたことが話題となり、新聞やテレビで遺伝カウンセリングが取り上げられる機会が急増しました。しかし、残念ながら日本では遺伝カウンセリングに対する関心や社会的な認知度はきわめて低いのが現状です。

新潟病院では、2005年に新潟県で最も早く遺伝カウンセリングのための「遺伝外来」を開設し、遺伝性神経筋疾患を中心に多数の遺伝カウンセリングを実施してきました(現在、**指導医1名を含め臨床遺伝専門医2名と認定遺伝カウンセラー2名が在籍**)。遺伝が関係して生じる問題は単に血縁者の再発確率に限定されるものではなく、実に多様です。患者さんや関係者が抱えている**遺伝の問題に対応するには、分子生物学やメンデル遺伝学の知識を持っているだけでは不十分な**のです。

日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会は、遺伝カウンセリングなどの遺伝医療の中核を担う人材を養成するため、「**臨床遺伝専門医**」制度を設けて様々な研修を実施しています。私自身もそうでしたが、この研修を受ける前と後では、目から鱗が落ちたように遺伝性疾患に対する考え方や診療態度が一変すると思います。新潟病院では皆さんが「臨床遺伝専門医」を取得出来る様に全面的に支援します。

ぜひ、私たちと新潟病院で遺伝を勉強をしましょう！

統括診療部長(臨床遺伝専門医・指導医)
小澤哲夫 ozawa@niigata-nh.go.jp

